

2022年8月31日
BOLDLY株式会社
伊予市
ヘルスケアテクノロジーズ株式会社

伊予市双海地域で自動運転バスとヘルスケアアプリなどを組み合わせた 実証実験を実施

ソフトバンク株式会社の子会社であるBOLDLY株式会社（ボードリー、本社：東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO：佐治 友基、以下「BOLDLY」）は、愛媛県の伊予市（市長：武智 邦典）の協力の下、2022年9月13日から10月8日の間、公道での自動運転バス「NAVYA ARMA（ナビヤ アルマ）」（仏Navya社製）の運行と、ヘルスケアテクノロジーズ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO：大石 怜史、以下「ヘルスケアテクノロジーズ」）が提供するヘルスケアアプリ「HELPO（ヘルポ）」などを組み合わせた実証実験（以下「本実証実験」）を行います。本実証実験は経済産業省の「地域新MaaS創出推進事業」^{※1}の一つとして実施するもので、BOLDLYは、本実証実験の代表企業として事業全体の企画・進捗管理を行う他、「NAVYA ARMA」の運行とそれに必要な事前準備（3Dマップデータの収集や走行ルート調整など）の業務を担います。なお、四国地方の公道で「NAVYA ARMA」が走行するのは今回が初めて^{※2}です。

本実証実験では、JR伊予上灘駅を起点とした1周約8kmのルートにおいて「NAVYA ARMA」を運行するとともに、高齢化や過疎化が進む伊予市双海地域の希望者に対して、ヘルスケアテクノロジーズの協力の下、健康医療相談サービスなどを利用できるヘルスケアアプリ「HELPO」^{※3}と健康管理機能を備えたスマートウォッチ「Fitbit」を提供して、日常的に利用いただきます。これにより、利用者の健康意識を高める機会を創出すると同時に、自動運転バスを契機とした外出意欲を促進し、長期的には外出に伴う軽い運動や利用者同士のコミュニケーションを通じた高齢者のフレイル予防の一助となることを目指します。

BOLDLYは、移動サービスの提供にとどまらず、ヘルスケアなどの他分野のサービスと連携することで、地域が抱える課題解決や移動サービスの持続可能性の向上を検証するために、本実証実験を実施します。本実証実験の結果を踏まえて、今後、伊予市役所および地域の交通事業者などと議論を重ねながら、伊予市における自動運転バスの実用化を目指します。

※1 経済産業省は、新たなモビリティサービスの社会実装およびその高度化を目指して、先進的かつ全国横断的な課題に対して計画的かつ意欲的に挑戦する「先進パイロット地域」として、2022年度は11の地域を選定し、伊予市はその一つに選ばれています。詳しくは、経済産業省のホームページ（<https://www.meti.go.jp/policy/automobile/sumamobi.html>）をご覧ください。

※2 BOLDLY調べ（2022年8月時点）

※3 「HELPO」の提供期間は、2022年9月～2023年1月です。

1. 実証実験の場所

伊予市双海地域の公道（JR伊予上灘駅を起点にふたみシーサイド公園などを経由し、翠小学校に至る1周約8km）



2. 実証実験の期間および参加方法

2022年9月13日～10月8日

期間中はどなたでも自由に乗車できます。乗車の際には、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策にご協力をお願いします。

※9月12日は関係者試乗会を実施します。

・「NAVYA ARMA」



・「HELPO」の利用イメージ



「HELPO」の詳細は、[こちら](https://healthcare-tech.co.jp/)をご覧ください。
<https://healthcare-tech.co.jp/>

- ・「Fitbit」の画面イメージ



- このプレスリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。
- このプレスリリースに記載されている内容、製品・サービスの価格、仕様、問い合わせ先およびその他の情報は、発表日時点のものです。これらの情報は予告なしに変更される場合があります。